

平成28年度 第4回

重粒子線医工連携セミナー

☆日時 7月15日 (金) 17:00 ~ 18:00

☆会場 重粒子線医学センターカンファ室

講師..株式会社 日立製作所

研究開発グループ
ヘルスケアイノベーションシヨンセンター

主任研究員 小嶋 進一 先生

フotonカウンティングCTと放射線計測

医療の質向上のため、低侵襲で診断精度の高い放射線診断への要求がますます高まっている。放射線診断装置の1つであるCTは短時間で簡便に体内の形態画像を得ることができ、診断に不可欠な機器である。一方、高付加価値診断や被ばく量の低減など更なる高機能化も求められている。

現在、CT高機能化の1つとしてフotonカウンティングCTが注目されている。従来CTではある時間に入射したX線の積分値を用いて計測するが、フotonカウンティングCTでは検出器に入射した個々のX線のエネルギー情報まで得ることが可能であり、その情報を用いた高機能診断の可能性を秘めている。本セミナーでは

1. CT装置における放射線検出
 2. フotonカウンティングCTのメリット
 3. フotonカウンティングCT実現へのハードル
 4. 日立のヘルスケア事業と機器開発
- について紹介する予定である。



= 共催 =

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 放射線治療人材養成8大学連携プログラム
博士課程教育リーディングプログラム 群馬大学 重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム

= お問い合わせ先 =

群馬大学重粒子線医学研究センター 猪爪 (E-mail:inoino@gunma-u.ac.jp)
〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22 TEL: 027-220-8378